

## コスタリカ内政・外交主要事項（2018年1月～3月）

2018年1月～3月の当国内政・外交主要事項は以下のとおり。

### 【要旨】

#### 内政

- 1月，米州人権裁判所が，同性同士の結婚を含むLGBTIの権利をさらに広く認めるよう勧告。大統領選挙の第一回投票の直前ということもあり，第一回投票に大きな影響を与えた。
- 2月，大統領選挙第一回投票・国会議員選挙が平穏裏に実施。投票の結果，国家復興党（PRN）のファブリシオ・アルバラード候補と現与党，市民行動党（PAC）のカルロス・アルバラード候補が4月1日に行われる決選投票に進出。

#### 外交

- 2月2日，ニカラグアとの間で抱えていた海洋境界紛争に関するICJ判決が出された。この判決をうけ，両国での海洋境界が画定することになった。長年争われていた同問題の判決が出たことにより，二国間関係の改善が期待される。
- 政権末期であるが，ゴンサレス外相は最後まで積極的に外遊を実施。1月から3月にかけて，アラブ首長国連邦（UAE），サウジアラビア，ブラジルを訪問した。

### I 内政

#### （1）法務大臣の交代

12月31日，セシリア・サンチェス・ロメロ法務大臣が，1月1日より，当地に所在する国連ラ米犯罪防止研修所（ILANUD）の所長職を務めるため辞職した。後任には，マルコ・フェオリ法務次官が就任し，その任期は，新政権発足までの4ヶ月あまりとなる。サンチェス氏は，コスタリカ人及び女性として初のILANUD所長となる。

#### （2）同性愛者の人権保護に関する米州人権裁判所勧告的意見

1月9日，米州人権裁判所が，全ての米州諸国に対して，同性同士の結婚を含めたLGBTIの人々の人権を認めるよう勧告した。同勧告は，LGBTIの人々に大いに歓迎された一方で，一部の保守的なコスタリカ人からの反発を引き起こすこととなった。

いち早く同勧告への反対を示したのは，福音派政党である国家復興党（PRN）のファブリシオ・アルバラード候補で，コスタリカの伝統的価値を守るためならば，米州人権規約からの脱退も辞さないという強い姿勢を示した。一方，ソリス政権は同勧告を歓迎し，かねてから同性愛者同士の結婚に賛成を示していたカルロス・アルバラード（PAC）候補も，同勧告に寛容な姿勢を見せた。同判決に対する対応

をめぐり、世論が二分され、結果として2月に行われた大統領選挙戦にも大きく影響を与えることとなった。

### (3) コスタリカ大統領・国会議員選挙

2月4日、コスタリカにおいて大統領選挙第一回投票・国会議員選挙が行われた。当日は特段の混乱もなく平穏裡に終了。いずれの候補も、大統領選出に必要な40%の得票率を獲得できなかったため、第一回投票の得票率上位二候補（ファブリシオ・アルバラードPRN候補及びカルロス・アルバラードPAC候補）の間で決選投票が4月1日に実施されることになった。

上記1(2)のとおり、米州人権裁判所が出したLGBTIの権利に関する勧告的意見が大きく影響を及ぼし、強い反対を示していたファブリシオ・アルバラードPRN候補が、投票直前に国内の保守派からの支持を得て支持率を急上昇させ、第1位で決選投票に進むこととなった。他方、カルロス・アルバラードPAC候補は、同性愛者同士の結婚に賛成するなどリベラルな姿勢をみせ、多くの若者たちからの支持を得て、決選投票に残った。

#### ●大統領選挙第一回投票の結果

1. ファブリシオ・アルバラード候補（国家復興党（PRN））：24.99%
2. カルロス・アルバラード候補（市民行動党（PAC））：21.63%
3. アルバレス・ディサンティ候補（国民解放党（PLN））：18.63%
4. ロドルフォ・ピサ候補（キリスト教社会統一党（PUSC））：15.99%
5. フアン・ディエゴ・カストロ候補（国家統合党（PIN））：9.54%
6. ロドルフォ・エルナンデス候補（キリスト教社会共和党（PRSC））：4.94%

※棄権率：31.61%

#### ●国会議員選挙による各党の獲得議席

1. 国民解放党（PLN）：17議席
2. 国家復興党（PRN）：14議席
3. 市民行動党（PAC）：10議席
4. キリスト教社会統一党（PUSC）：9議席
5. 国家統合党（PIN）：4議席
6. キリスト教社会共和党（PRSC）：2議席
7. 広域戦線（FA）：1議席

※全57議席

## II 外交

### 1 二国間関係

#### (1) 対日関係

(ア) 経済社会開発計画（医療機器供与）のE/N署名

2月16日、当国外務省において、本使とゴンサレス外務大臣との間で無償資金協力「経済社会開発計画」に関する書簡の署名・交換が行われた。この無償資金協力により、地方を含むコスタリカの医療機関に、我が国の医療機材が供与されることとなる。署名・交換式には、ジョルカ社会保険庁長官らが同席した。

#### (イ) 経済社会開発計画（次世代自動車供与）

3月20日、日本政府からコスタリカ政府に対し、無償資金協力による日本製の60台の次世代自動車が引渡された。これは、コスタリカにおける二酸化炭素削減に対する取組を支援するもので、供与された自動車は、大統領府や外務省等の政府関係機関に順次配置される予定。供与式には、本使、ソリス大統領、チャコン第二副大統領、グティエレス環境・エネルギー大臣の他、日本の次世代自動車関係者らや現地プレスが多数参加した。

#### (2) 対ニカラグア関係

2月2日、「カリブ海及び太平洋における海洋境界画定」及び「イスラ・ポルティージョの北部における陸地境界」にかかるICJ判決が出された。前者では、ニカラグアとの海洋国境が画定され、後者では、ニカラグアに対して、イスラ・ポルティージョ海岸にニカラグアが設置していた軍駐屯施設を撤去するよう命令が下された。コスタリカ政府はこれらの判決を「歴史的な判決」と称して歓迎。イスラ・ポルティージョにかかる判決を受け、12日、ニカラグアは軍の駐屯施設を、ハーバー・ヘッド・ラグーンのニカラグア領域へ移転した。

また、3月7日には、イスラ・ポルティージョのコスタリカ領においてニカラグアが引き起こした環境被害に対して、ニカラグアがコスタリカに賠償金を支払った。賠償金額に関しても、コスタリカとニカラグアとの間で争いがあり、今次判決で賠償金額が決定された。

#### (3) 対中国関係

2月9日、モラ貿易大臣が訪中。北京で開催された第1回電子商取引世界大会にパネリストとして参加した。中国国家質量監督検験総局(AQSIQ)の副局長と会談を行い、コスタリカ産豚肉の中国市場への輸出を可能とする協定を締結した。

#### (4) 対パナマ関係

3月20日、バレーラ・パナマ大統領及びマロ副大統領が当国を訪問し、ソリス大統領と会談を行った。会談では、二国間にかかるシクサオラ橋(Sixaola)の建設や、二国間貿易、組織犯罪に対する対策等をはじめとする様々なテーマについて議論された。また、バレーラ大統領は当国のINCAEビジネススクールにおいて、企業関係者と意見交換を行い、講演を行った。

## 2 ゴンサレス外相の外遊

### (1) UAE公式訪問

2月27日、アラブ首長国連邦を公式訪問。アブダラー・UAE外相がゴンサレス外相に勲章を授与した他、コスタリカ貿易促進機構(PROCOMER)の事務所をドバイに開設する覚書が結ばれた。さらに、ゴンサレス外相は、ラテンアメ

リカ・グローバル経済フォーラムに参加し、コスタリカの投資先としての魅力を説明した。

#### (2) サウジアラビア公式訪問

3月1日より、サウジアラビアを公式訪問。ジュベイル・サウジアラビア外相との会談において、「コスタリカ・サウジアラビア王国政治協議に関する了解覚書」に署名した他、農業分野やエネルギー分野における要人と会談を行った。ゴンサレス外相は、サウジアラビアを訪問した初めてのコスタリカ外相となった。

#### (3) ブラジル公式訪問

3月16日、サンパウロ産業連盟との会合に参加するためブラジルを訪問。ヌネス外相と会談を行い、二国間経済関係をはじめとする様々なテーマについて話し合った。

### 3 S I C A及びその他地域機構関係

#### (1) CELAC-中国閣僚フォーラム準備会合開催

1月20日から21日、チリにおいてCELAC-中国閣僚フォーラム準備会合が開催。コスタリカよりソラーノ外務次官が出席。同会合では、両地域における持続可能な開発の推進、様々な投資分野における協力及び中国の進める「一带一路」構想の可能性について議論された。

#### (2) S I C A閣僚会議

3月14日、S I C A閣僚会議がドミニカ共和国で開催。コスタリカよりソラーノ外務次官が出席。会議において、S I C Aは手続のを簡潔化を目的とした移民取り扱いに対する地域協定を締結。また、中米全体の治安改善に関する協定についても合意した。